

平成29年度e・アンケートモニター
第1回アンケートNo.2調査結果
テーマ「地球温暖化問題について」

I 調査の概要

1 調査の目的

二酸化炭素等の温室効果ガス排出量増加による地球温暖化問題は、私たち人間の活動が原因である可能性は極めて高いといわれており、県民、事業者、行政がそれぞれ連携して対策を進める必要があります。

また、山口県全体の二酸化炭素排出量は、近年、減少傾向にあるものの、家庭からの排出量は増加しており、家庭における一層の削減の取組が重要です。

このアンケートは、今後、山口県において、地球温暖化対策の取組を推進していくための基礎資料として御意見を伺うものです。

2 調査実施期間

平成29年7月19日(水)～8月2日(水)

3 調査対象

平成29年度e・アンケートモニター 97人

4 回答状況

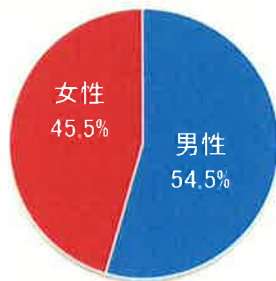
回答者 77人(回答率 79.4%)

5 調査担当課

山口県環境生活部環境政策課

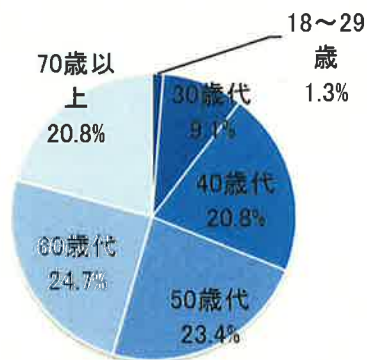
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	42	54.5
女性	35	45.5
計	77	100.0

■年代別



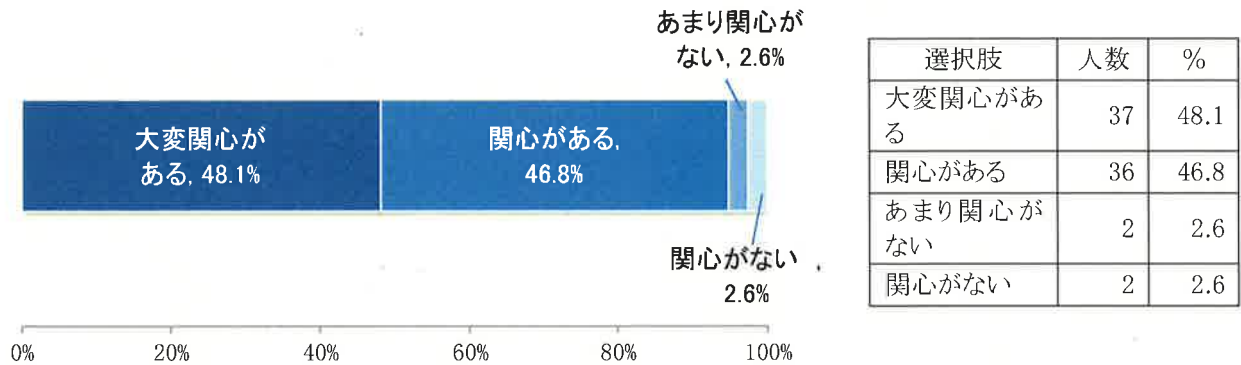
区分	人数	%
18～29歳	1	1.3
30歳代	7	9.1
40歳代	16	20.8
50歳代	18	23.4
60歳代	19	24.7
70歳以上	16	20.8
計	77	100.1

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

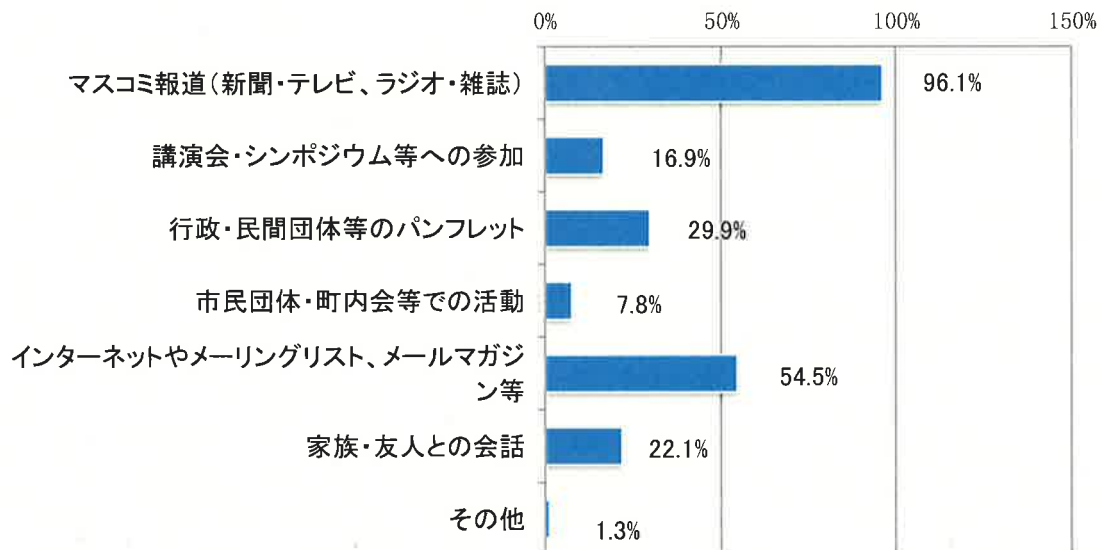
Ⅲ 調査結果

1. 地球温暖化問題について

問1 あなたは地球温暖化問題に関心をお持ちですか。(1つのみ)



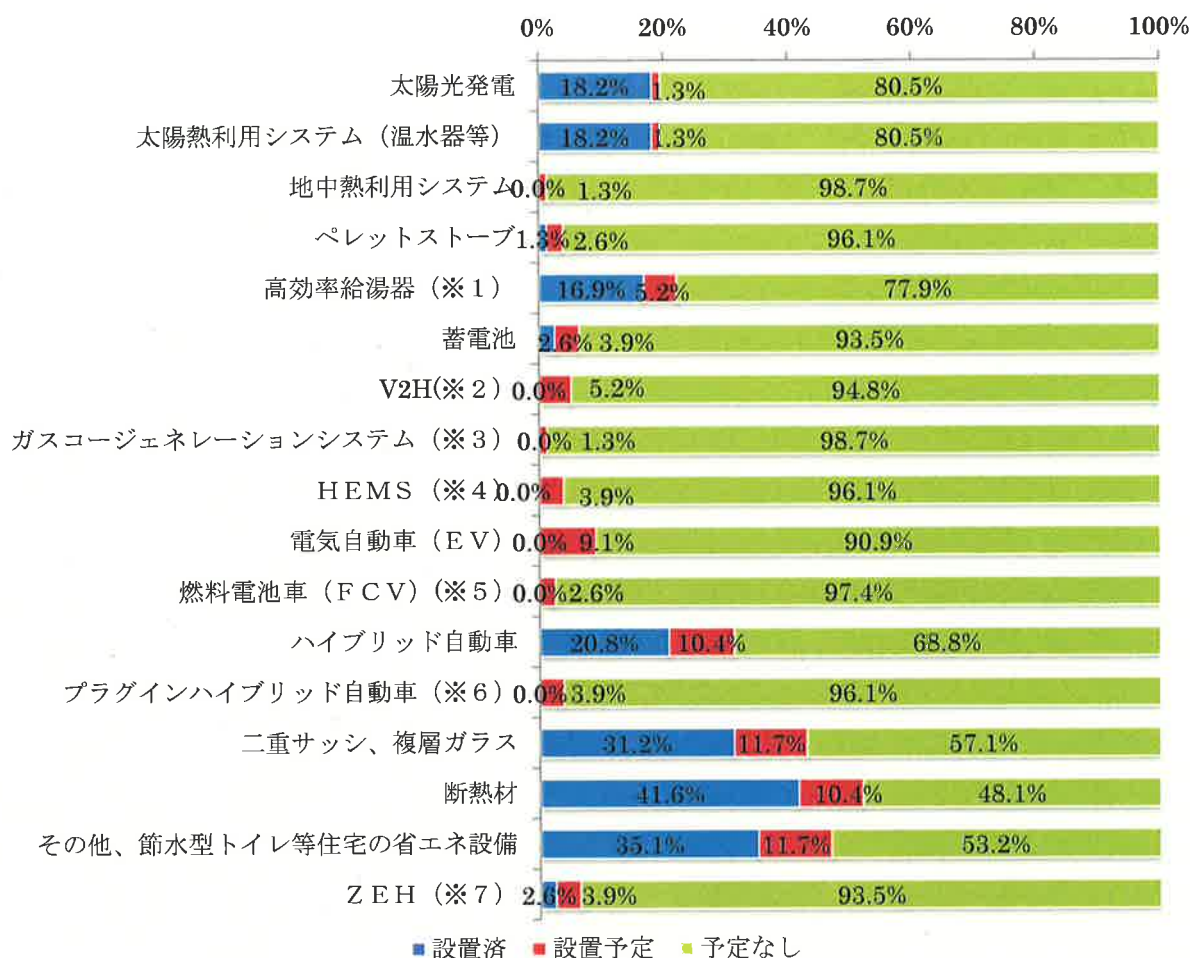
問2 あなたは、地球温暖化問題など環境に関する情報を何から得ていますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
マスコミ報道(新聞・テレビ、ラジオ・雑誌)	74	96.1
講演会・シンポジウム等への参加	13	16.9
行政・民間団体等のパンフレット	23	29.9
市民団体・町内会等での活動	6	7.8
インターネットやメーリングリスト、メールマガジン等	42	54.5
家族・友人との会話	17	22.1
その他	1	1.3

(複数回答)

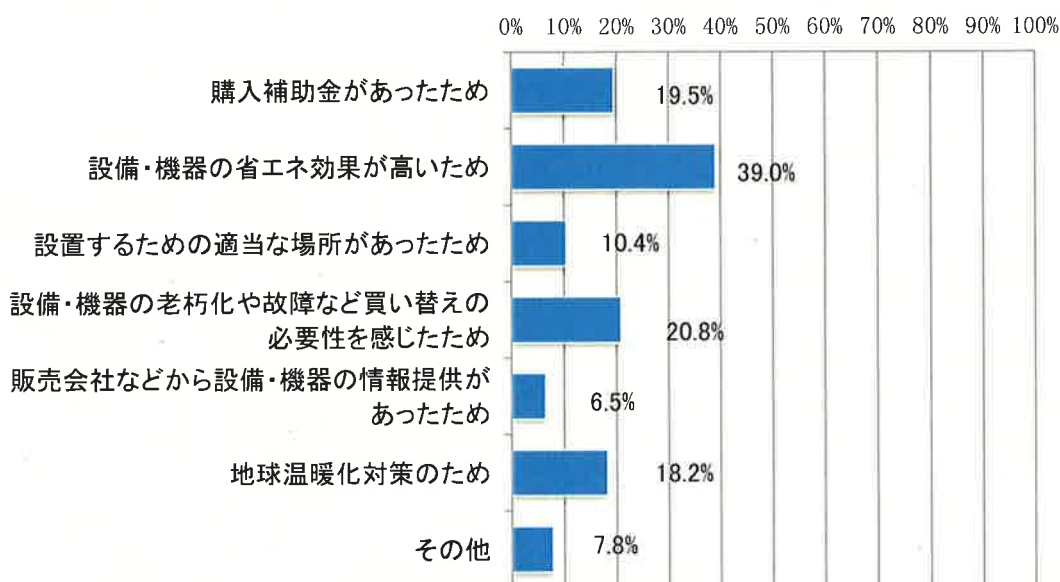
問3 あなたのご家庭において、以下の再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器等を設置していますか。(それぞれ1つずつ)



選択肢	人数			%		
	設置済	設置予定	予定なし	設置済	設置予定	予定なし
太陽光発電	14	1	62	18.2	1.3	80.5
太陽熱利用システム(温水器等)	14	1	62	18.2	1.3	80.5
地中熱利用システム	0	1	76	0.0	1.3	98.7
ペレットストーブ	1	2	74	1.3	2.6	96.1
高効率給湯器(※1)	13	4	60	16.9	5.2	77.9
蓄電池	2	3	72	2.6	3.9	93.5
V2H(※2)	0	4	73	0.0	5.2	94.8
ガスコージェネレーションシステム(※3)	0	1	76	0.0	1.3	98.7
HEMS(※4)	0	3	74	0.0	3.9	96.1
電気自動車(EV)	0	7	70	0.0	9.1	90.9
燃料電池車(FCV)(※5)	0	2	75	0.0	2.6	97.4
ハイブリッド自動車	16	8	53	20.8	10.4	68.8
プラグインハイブリッド自動車(※6)	0	3	74	0.0	3.9	96.1
二重サッシ、複層ガラス	24	9	44	31.2	11.7	57.1
断熱材	32	8	37	41.6	10.4	48.1
その他、節水型トイレ等住宅の省エネ設備	27	9	41	35.1	11.7	53.2
ZEH(ゼロエネルギーハウス)(※7)	2	3	72	2.6	3.9	93.5

- ※1 給湯熱効率が90%以上である給湯器(エコキュート、潜熱回収型給湯器など)のこと。
- ※2 電気自動車に蓄えた電気を住宅に供給する設備
- ※3 ガスを使って電気と熱を取り出し利用するシステム(エネファーム、エコウィル)
- ※4 家庭での電力使用量や太陽光発電システムの発電量等をパソコン・タブレット等で「見える化」し、効率的な電気の利用と節電を行うシステム
- ※5 水素と酸素の化学反応によって作られる電気を使用してモーターで車を駆動させる自動車(静かで走行中に排出するのは、水素と酸素の化学反応で作られる水だけです。)
- ※6 外部電源から充電できるタイプのハイブリッド自動車(排気ガス等を出さない電気自動車のメリットと遠距離走行ができるハイブリッド自動車の長所を併せ持つ自動車です。)
- ※7 太陽光発電などでエネルギーを創ることにより、家庭での年間の消費エネルギー量(空調・給湯・照明・換気)の収支をプラスマイナス「ゼロ」にする住宅

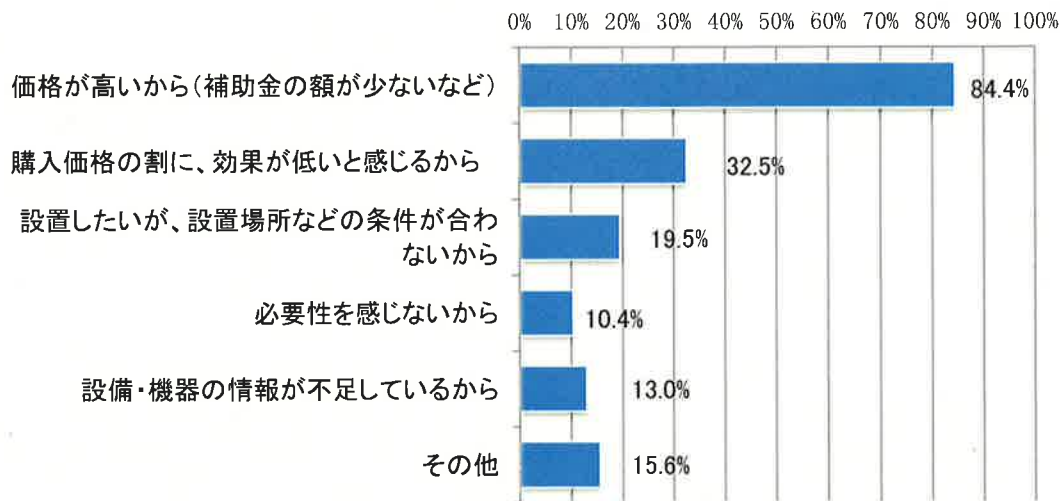
問4 問3で再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器等を設置済又は設置予定と回答した方へお尋ねします。あなたが、再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器等を設置した又は設置する理由は何ですか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
購入補助金があったため	15	19.5
設備・機器の省エネ効果が高いため	30	39.0
設置するための適当な場所があったため	8	10.4
設備・機器の老朽化や故障など買い替えの必要性を感じたため	16	20.8
販売会社などから設備・機器の情報提供があったため	5	6.5
地球温暖化対策のため	14	18.2
その他	6	7.8

(複数回答)

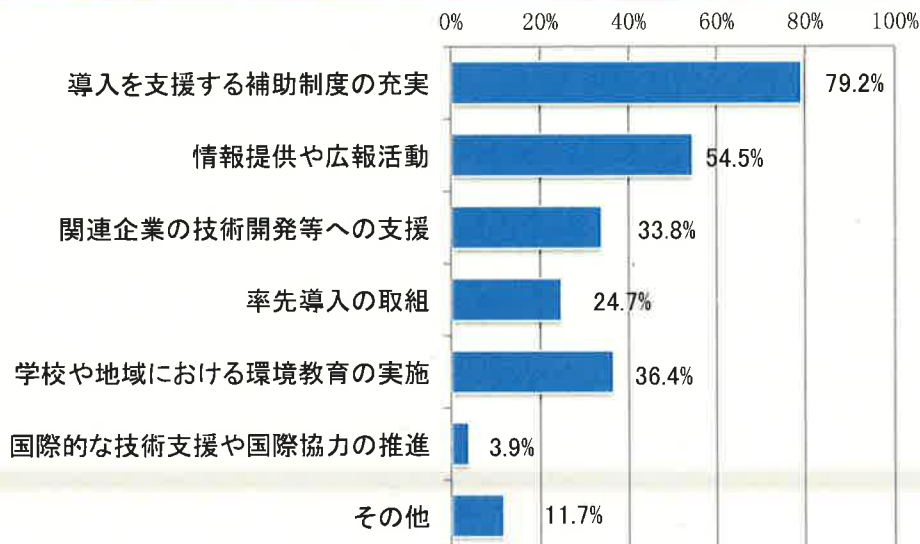
問5 再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器等を設置しにくいと感じる理由は何ですか。
(いくつでも)



選択肢	人数	%
価格が高いから(補助金の額が少ないなど)	65	84.4
購入価格の割に、効果が低いと感じるから	25	32.5
設定したいが、設置場所などの条件が合わないから	15	19.5
必要性を感じないから	8	10.4
設備・機器の情報が不足しているから	10	13.0
その他	12	15.6

(複数回答)

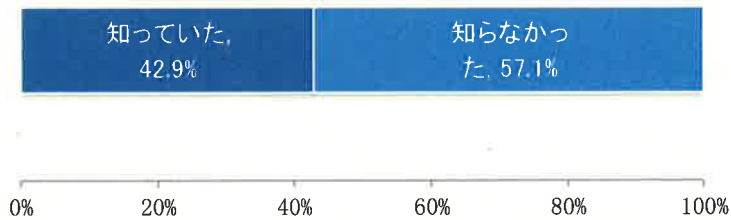
問6 再生可能エネルギー設備や省エネルギー機器の導入促進のため、行政が取り組むべきものは何だと思いませんか。(3つまで)



選択肢	人数	%
導入を支援する補助制度の充実	61	79.2
情報提供や広報活動	42	54.5
関連企業の技術開発等への支援	26	33.8
率先導入の取組	19	24.7
学校や地域における環境教育の実施	28	36.4
国際的な技術支援や国際協力の推進	3	3.9
その他	9	11.7

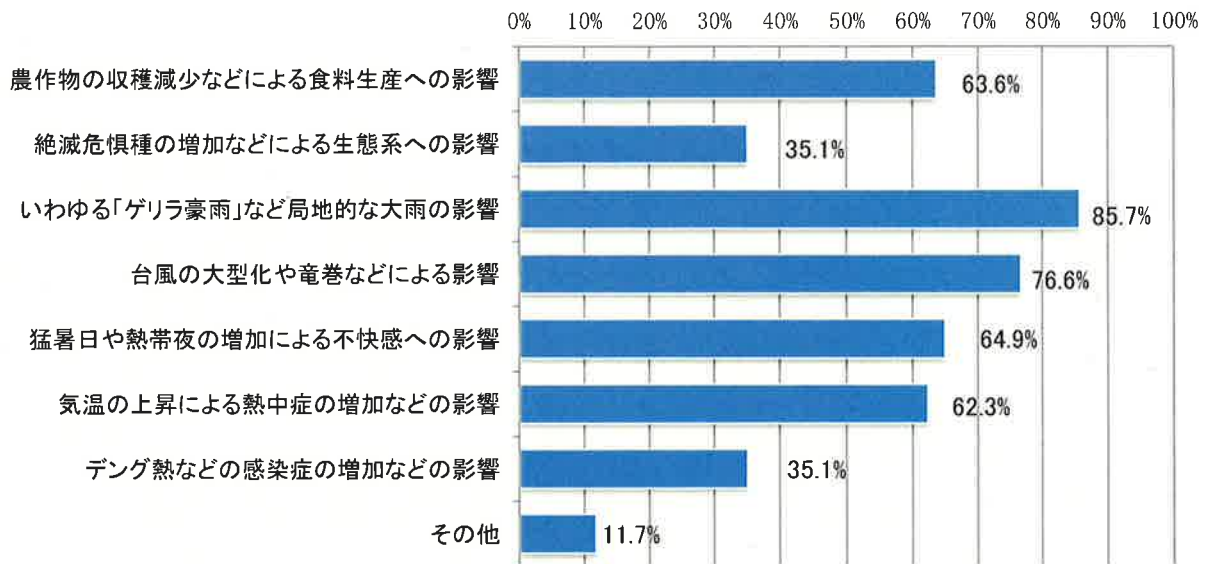
(複数回答)

問7 県では、「ぶちエコやまぐち」を合言葉に地球温暖化防止のための取組を進めていますが、あなたは、「ぶちエコやまぐち」という言葉を知っていましたか。



選択肢	人数	%
知っていた	33	42.9
知らなかった	44	57.1

問8 あなたは、将来的な地球温暖化の影響として、どのようなことを不安に感じますか。
(いくつでも)



選択肢	人数	%
農作物の収穫減少などによる食料生産への影響	49	63.6
絶滅危惧種の増加などによる生態系への影響	27	35.1
いわゆる「ゲリラ豪雨」など局地的な大雨の影響	66	85.7
台風の大型化や竜巻などによる影響	59	76.6
猛暑日や熱帯夜の増加による不快感への影響	50	64.9
気温の上昇による熱中症の増加などの影響	48	62.3
デング熱などの感染症の増加などの影響	27	35.1
その他	9	11.7

(複数回答)

問9 地球温暖化の対策として、温暖化による影響や被害を軽減することを「適応」と言いますが、あなたは、「適応」という言葉を知っていましたか。

【適応策の例】

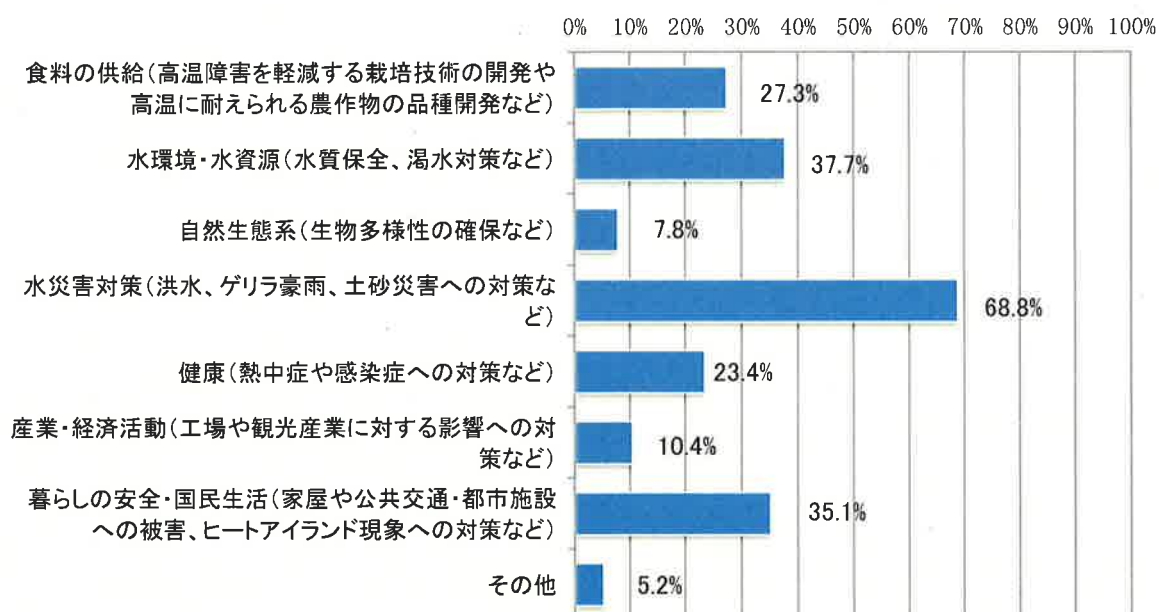
- ・ 農作物栽培の適地が移動することに対する農作物の転換
- ・ 局地的豪雨の増加などによる土砂災害や洪水などの災害予防
- ・ 猛暑日の増加などに対する熱中症の予防



選択肢	人数	%
知っていた	25	32.5
知らなかった	52	67.5



問 10 地球温暖化による気候変動（猛暑や局所的な大雨などの極端な気象現象の増加など）の影響に対処するために、県が優先的に進めていくべき適応策はどの分野だと考えますか。（2つまで）



選択肢	人数	%
食料の供給(高温障害を軽減する栽培技術の開発や高温に耐えられる農作物の品種開発など)	21	27.3
水環境・水資源(水質保全、渇水対策など)	29	37.7
自然生態系(生物多様性の確保など)	6	7.8
水災害対策(洪水、ゲリラ豪雨、土砂災害への対策など)	53	68.8
健康(熱中症や感染症への対策など)	18	23.4
産業・経済活動(工場や観光産業に対する影響への対策など)	8	10.4
暮らしの安全・国民生活(家屋や公共交通・都市施設への被害、ヒートアイランド現象への対策など)	27	35.1
その他	4	5.2

問 11 今後、県が地球温暖化対策を進めるうえで、ご意見・ご要望ありましたら自由にご記入ください。（全角200字以内）

省略